

令和5年9月1日

市政記者各位

再生リンによる循環型農業の取組みが 国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」を受賞！

令和5年度(第16回)国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」に、本市とJA全農ふくれんが連名で応募した、再生リンの有効活用に関する取組みが**イノベーション部門賞**を受賞しました！

なお、表彰式は9月8日(金)に開催されます。

1. 国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」

健全な水環境、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組みに対し、平成20年度に創設された国土交通大臣賞です。

イノベーション、防災・減災、アセットマネジメント、広報・教育の4つの部門があり、毎年グランプリと部門賞が選定され、受賞団体には国土交通大臣から賞状が授与されます。

表彰式日程 ※詳細については、**別紙1**をご覧ください。

- ・ 日時：令和5年9月8日(金) 13:15～14:00
- ・ 場所：国土交通省(中央合同庁舎3号館)10階 共用会議室A

2. 応募内容

『福岡市生まれの再生リンが巡る広域循環モデル、テイクオフ！

～JAグループと共働しオールウィン体制を構築～』

概要 ※詳細については、**別紙2**をご覧ください。

- ・ 博多湾の環境保全のため、平成8年から下水中のリンを回収する取組みを開始。
- ・ 令和4年度から、設備更新による再生リンの回収量増加を機に、JA全農ふくれんと連携し、エコ肥料「e・green」を製品化。
- ・ エコ肥料「e・green」が市域を越えて県内の多数のJAへ広がり、再生リンの広域循環システムを構築。
- ・ 令和4年7月26日の市長会見(※**別紙3**)以降、多数の報道機関から取材していただき、全国各地の行政機関などがリン回収施設の見学に来られています。

再生リンとは

下水をきれいにする過程で回収したリンのことで、和白水処理センターで回収した再生リンは「ふくまっぴ neo」という名称で肥料登録しています



エコ肥料「e・green」とは

再生リン「ふくまっぴ neo」と県内JAグループの堆肥を原料とした有機質配合肥料

同時発表：堺市、東京都、福岡市、熊本市、(一社)CWP、管清工業㈱、
倉敷市、松山市、柏市、三浦市、新潟市

令和5年9月1日
水管理・国土保全局下水道部

「循環のみち下水道賞」表彰式を開催！ ～創意工夫のある優れた取組を表彰します～

国土交通省は、令和5年度（第16回）国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の受賞事例を決定しました。
表彰式は9月8日（金）に開催します。

国土交通省では、健全な水循環、資源・エネルギー循環を創出する「循環のみち下水道」に係る優れた取組を、国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」として表彰しています。今年度は、堺市の「介護予防とコミュニティ創出の鍵は??マンホールにあり!!」をグランプリに、そのほか部門賞として10件を決定しました。

受賞団体の功績を称えるため、下記のとおり表彰式を9月8日（金）に開催します。

記

1. 表彰式

日 時：令和5年9月8日（金）13：15～14：00
場 所：中央合同庁舎3号館10階 共用会議室A

2. 受賞案件

別紙のとおり

3. 取材

表彰式会場での取材は報道関係者のみに限らせていただきます。

取材を希望する場合は、9月6日（水）15時までに、以下のとおりメールにてご連絡下さい。

件名：【取材希望】令和5年度（第16回）国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」表彰式

本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）

送付先：oomori-t86nr(at)mlit.go.jp, yoshida-i2hd(at)mlit.go.jp

((at)を@に置き換えた上で、必ず両名に送付してください)



（昨年度の様子）

<問い合わせ先>

水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課

企画専門官 末久 正樹、 企画調整係長 大森 匠、 吉田 一平

TEL 03-5253-8111（内線 34132、34133、34136） 03-5253-8427（直通）

**令和5年度(第16回)
国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)**

1. グランプリ(1件)

受賞者	件名
堺市	介護予防とコミュニティ創出の鍵は?? マンホールにあり!!

2. イノベーション部門(4件)

受賞者	件名
東京都下水道局	排水設備業務へのDX導入と他自治体への展開
福岡市・JA全農ふくれん	福岡市生まれの再生リンが巡る広域循環モデル、テイクオフ! ～JAグループと共働しオールウィン体制を構築～
熊本市	漁業・農業との連携・協働による下水道資源の活用 ～ 40年に及ぶ地域との信頼関係の構築 ～
一般社団法人CWP 管清工業株式会社	技術人材の育成及び活用を通じた、東ティモールにおける下水道ビジネス市場の創出

3. 防災・減災部門(3件)

受賞者	件名
東松島市	産学官連携マンホールトイレ設置運営マニュアル作成
倉敷市	行政・市民・事業者 みんなが自分事として取り組む浸水対策
松山市公営企業局	上下水道部門が一体となった災害体制の確立とDXを活用した実行力強化

4. アセットマネジメント部門(2件)

受賞者	件名
柏市 柏管路包括共同企業体	下水管の状態が一目瞭然! 一劣化ハザードマップの活用ー
三浦市	”フルセット”のコンセッション事業導入 ～三浦市公共下水道(東部処理区)運営事業～

5. 広報・教育部門(1件)

受賞者	件名
新潟法律大学校 新潟市	Gゼミ《新潟法律大学校下水道広報部》行政と連携したPR実践

「循環のみち下水道賞」の目的

循環のみち下水道賞は、下水道の使命を果たし、社会に貢献した好事例を表彰し広く発信することで、受賞者の功績を称えるとともに、他の多くの団体等が同様の取組を行うことで、健全な水循環及び資源・エネルギー循環を創出する「循環のみち下水道」の実現を全国的に図ることを目的とする。

「循環のみち下水道賞」の部門構成について

グランプリ

※令和5年度より各部門賞の中からグランプリを選定

イノベーション部門

現場における創意工夫や新技術の活用等の取組

下水道が有する膨大なストック、水・資源・エネルギー、経験等を活かし、地球温暖化の防止、循環型社会の構築、世界の水と衛生・環境問題の解決、国際的なビジネス展開による新たな市場の開拓等、新しい価値の創造に貢献する取組。

防災・減災部門

災害対策におけるソフト・ハード面の取組

大規模災害（地震、津波、異常豪雨等）時においても、国民の健康・生命・財産及び経済活動を保護・保全するため、下水道による強靱な社会の構築に貢献する取組。

アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、事業運営、人材育成に貢献する取組

管理体制（人）、施設管理（モノ）、経営管理（カネ）の一体的マネジメントや人材の育成、技術力の維持・継承等により、下水道事業の持続に貢献する取組。

広報・教育部門

効果的な広報活動や環境・防災教育等の取組

下水道の役割、重要性、魅力、可能性等に気づき、共感し、行動してもらうための効果的な広報活動や環境・防災教育の取組。

令和5年度（第16回）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉

イノベーション部門

福岡市生まれの再生リンが巡る広域循環モデル、テイクオフ！

～JAグループと共働しオールウィン体制を構築～

福岡市・JA 全農ふくれん



PRポイント！

広域循環でオールウィン！

- | | |
|-----------|-------------------|
| 福岡市道路下水道局 | ●再生リンの安定した需要の確保 |
| JA 全農ふくれん | ●輸入に頼らない肥料資源の安定調達 |
| 市民 | ●新鮮な農作物の購入 |
| 生産者 | ●肥料価格高騰対策 |

取組の効果！

再生リン入りエコ肥料を使用する生産者からの“肥料価格が高騰する中、少しでも安価な肥料を使用できることはありがたい。環境にも配慮されていることがいいと思う。”という意見や、市民向けイベントで“下水道資源が肥料になるなんて知らなかった。SDGsの観点からもいいと思う。”という市民からの意見があり、広域循環による市民への還元を実現すると共に、下水道事業への理解が深まった。

Key Person



道路下水道局下水道施設部
プロジェクトチームリーダー
前田 茂行

スピード感をもって再生リンの新たな販路を確保するため、自らプロジェクトチームを立ち上げました。生産者向けの施設見学会や各JAの現地訪問を行い、**相互の理解が深まった**ことがエコ肥料の普及に繋がったと考えています。休日にこっそりJA支店に行った際、エコ肥料が陳列されたのを見たときは努力が報われたと胸が熱くなりました。

今後も、JAグループと共働して、**市民や生産者のためにこの取組みをさらに推進**していきます。

令和4年7月26日

市政記者各位

再生リンを活用した 資源循環の新たな取り組みを開始！ ～JA 全農ふくれんと協働でエコ肥料を製品化～

福岡市は、再生リンを有効活用するため、エコ肥料の製造について、JA全農ふくれんと連携します。

和白水処理センターで回収した再生リンをJA全農ふくれんに供給し、再生リンと福岡県内JAグループのたい肥を使ったエコ肥料「e・green」シリーズを、JA全農ふくれんが県内の各JAを通じて販売します。福岡市内においては、JA福岡市とJA福岡市東部で販売されます。

肥料の製造について、JA全農ふくれんと地方自治体が連携することは、初めての取り組みとなります。

肥料の原料に欠かせないリンは、ほぼ全量を輸入に依存していますが、今回のエコ肥料の原料には、福岡市の再生リンを活用します。新しい肥料の価格は**従来品に比べて約20～30%安く、現在の肥料価格高騰対策となり、農家のみなさまと福岡市民のみなさまの食卓の支えにつながります。**

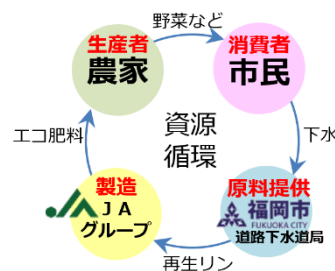
また、JA全農ふくれんが販売するエコ肥料が、県内を流通することは**循環型社会の構築につながります。**

● 持続可能な都市資源となる「再生リン」

下水から回収する再生リンは、安定的な供給が可能な都市資源です。

再生リンがエコ肥料の原料に使われ、エコ肥料で育てられた野菜などが市民のみなさまの食卓に届き、リンは資源として循環します。

再生リンの有効活用は、脱輸入依存や環境負荷の低減につながるため、福岡市は、今後も再生リンの有効活用の促進に取り組めます。



再生リンの資源循環イメージ



※ふくまっぷ neo は
再生リンの肥料登録名称です

職員考案ロゴ



職員考案ロゴが掲載されたエコ肥料「e・green」

※「再生リン」とは

水処理センターでは、博多湾の環境保全を目的として、高度処理に取り組んでいます。下水を浄化する過程で、リンを回収し、これを「再生リン」として有効活用しています。

【お問い合わせ先】

和白水処理センター

所長 佐々木

TEL 092-607-7001

FAX 092-607-7002



令和4年7月26日

報道各位

全国農業協同組合連合会（JA全農）

福岡市の回収リン酸を活用した肥料の開発について

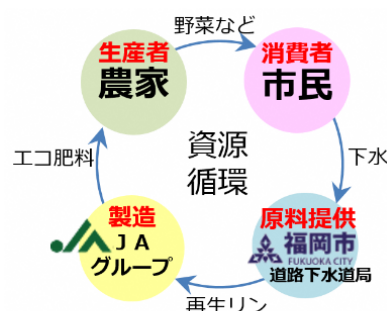
全国農業協同組合連合会 福岡県本部（JA全農ふくれん）は、福岡市と連携し、国内未利用資源を活用した肥料の開発・販売を開始します。

現在、輸入に依存している肥料原料のリンについて、福岡市和白水処理センターで回収した再生リンを肥料原料として使用します。加えて、JAグループの堆肥を使用することで、循環型社会の構築を目指します。

【概要】

（1）「再生リン」とは

福岡市道路下水道局和白水処理センターにおいて、博多湾の環境保全を目的として、高度処理を行っています。その過程でリンを回収し、「再生リン」として肥料原料に活用します。



再生リンの資源循環イメージ

（2）「みどりの食料システム戦略」の推進

輸入に依存している肥料原料を、福岡市の都市資源である再生リンとJAグループの堆肥を使用することで、環境負荷軽減、持続的な産業基盤の構築を行い、豊かな食生活につなげます。



（3）「e・green」シリーズの販売銘柄

「8・8・8」 「7・7・7」 「14・5・5」

（4）肥料販売について

福岡県内のJAでお買い求めいただけます。

（8月下旬ごろ販売開始予定）

粒状タイプ

（イメージ）



※包材は変更になることがあります。

【お問い合わせ先】

JA全農ふくれん 農機資材部 生産資材課 田淵・青柳

TEL:092-762-4710 FAX:092-781-4231